

# あふ 魅力と活力に溢れ、市民一人一人が 活躍できるまちを目指して

## —令和4年度施政方針から



仙台市長  
郡 和子

新型コロナウイルス感染症との闘いが始まり2年。この間、医療関係者はもとより、市民の皆さまにご協力をいただいていることに深く感謝申し上げます。市民の皆さまの命と暮らしを守るため、市の総力を挙げて取り組んでいます。コロナ禍をはじめ、情報化の進展や気候変動問題、少子高齢化など、都市を取り巻く状況が急速に変化し、不確実性を増す中、いかにして心豊かな暮らしとまちの持続的発展を実現していくのか、今そのことが問われています。

基本計画の理念として掲げる「The Greenest City SENDAI」。震災から10年を経過する中、本市は世界を視野に、新たなまちづくりのステージへと向かう扉を開きました。東部沿岸エリアを新たな交流を促す拠点として進化させるとともに、青葉山エリアを本市のアイデンティティを象徴する場所として磨き上げます。音楽ホールと中心部震災メモリアル拠点を複合化して

青葉山交流広場に整備し、震災復興で私たちが支えた音楽の力と災害を乗り越える力を未来につなぐほか、スーパーシティ構想を推進し、投資を呼び込んでいきます。未来に向けてまちが大きく動き出す今こそ、市民の皆さまが安心して大いに活躍できる環境づくりが重要です。さまざまな困難を抱える方々に支援を届けるとともに、一人一人が持てる力を十分に発揮できるように全力で応援します。「笑顔咲く杜の都」の実現に向け、市民の皆さまとともに各般の施策を推し進めていきます。

### 世界に誇る魅力と活力を生み出すまちづくり

次世代放射光施設の整備に向けて支援を行うとともに、ICTなどを活用したスタートアップの創出に取り組み、仙台発のイノベーションへとつなげます。コロナ後の経済成長に向け、中小企業や商店街のチャレンジを応援するほか、企業の研究開発拠点などの誘致を



東北大学青葉山新キャンパス内に設置される次世代放射光施設(イメージ図)。令和6年度の本格稼働に向け、研究拠点や企業の立地促進等に取り組みます

など、まちづくりにも資するものとなるよう進めていきます。国内外から多くの人を惹き付けられるよう、個性あるエリアの魅力をさらに引き出します。青葉山エリアでは、音楽ホールと中心部震災メモリアル拠点の複合整備に向けた基本構想に着手するとともに「(仮称)青葉山エリア文化観光交流ビジョン」を策定します。

仙台駅周辺や青葉通・一番町エリアでは、再開発などを支援するほか、青葉通の仙台駅西口周辺において、公共空間の活用効果などを検証する社会実験を行います。定禅寺通エリアでは、定禅寺通の再整備に向けた方針を策定します。市役所本庁舎敷地と勾当台公園市民広場の一体的利活用に関する社会実験に取り組みほか、コロナ禍の影響が顕著な中心部商店街・国分町への支援を強化します。東部沿岸エリアでは、貞山運河



保育施設等における1歳児の受け入れを推進するなど、保育サービスの充実を図ります

の利活用を含む活性化や回遊性向上に取り組みます。また、泉中央エリアでは、区役所の建て替えを推進するほか、駅前広場などとの一体的なまちづくりを進めます。多様な視点から一人ひとりの活躍を支えるまちづくり

多様な視点から一人ひとりの活躍を支えるまちづくり

多様な視点から一人ひとりの活躍を支えるまちづくり



国内外の専門家等が集う世界防災フォーラム。防災・減災の取り組みを世界へ発信します(写真は令和元年開催時)

図ります。また、中小企業のオンラインを活用した販路開拓やテレワーク導入支援を進めます。仙台・東北の多様な魅力を伝えるローカルツーリズムなどの取り組みを進めるとともに、コロナ後を見据え、台湾やタイへのプロモーションを強化します。また、G7関係閣僚会合の誘致を交流人口拡大につなげます。さらに、文化芸術の力をまちづくりに生かすため「(仮称)仙台市文化芸術推進基本計画」の策定を開始します。本市の良好な都市環境をアピールする好機となる全国都市緑化仙台フェアの開催準備を加速するとともに、世界防災フォーラムなどの国際会議を通して、本市の魅力国内外に発信します。ゼロカーボンシティの実現に向けては、製品プラスチックの一括回収・リサイクルを、令和5年度からの全市展開に向けて一部地域において先行実施します。ガス事業民営化について、エネルギー情勢の変化を捉えながら着実に取り組み、地域経済の活性化

査・医療提供体制の確保、学校や子育て関連施設などにおける感染対策に万全を期して取り組みます。「子育てするなら仙台」と選ばれるまちを目指し、新生児誕生祝福事業や若年層の戸建て住宅取得に対する助成を開始します。また、子ども医療費の助成について、令和5年度から所得制限を撤廃すべき準備を進めます。新生児の聴覚検査費用の助成や産後ケア事業における訪問型の取り組みを開始するほか、保育施設などにおける1歳児受け入れ枠を拡充します。さらに、子どもが意見を表明する機会を確保し、権利を擁護する「子どもアドボケート」を児童養護施設などに派遣するとともに、児童相談所の支援機能を強化します。学びのニーズに応じた教育環境づくりに向け、GIGAスクール構想を推進するとともに、令和5年度の夜間中学開設に向けた準備を進めます。また、子どもたちの健やかな学びを支えるため、いじ

め防止等に引き続き全力で取り組むとともに、在籍学級外教室「ステーション」の設置校拡大などにより不登校への対応を強化します。ヤングケアラーの早期発見と支援に向けた窓口を設置するほか、障害のある方などの家族に向けた親なきあとの経済的課題に関する相談会などを開催します。震災の影響により心身に不安を抱える方々の心の復興に引き続き取り組むとともに、生きづらさを抱える女性や若者が安心できる環境を整え、活躍を応援する「(仮称)女性・若者活躍推進会議」を開催し、支援に向けた検討を進めます。地域においては「(仮称)町内会応援プロジェクト」を開始し、コミュニティまつり復活への後押しや町内会の担い手確保などの支援を強化します。また、スポーツを核としたにぎわいの創出や地域コミュニティの活性化を図るほか、持続可能な公共交通サービスの提供に向け、地域交通の取り組みへの支援を拡大します。

時代は大きく動いています。「挑戦を続ける、新たな杜の都へ」。私たちのチャレンジはまさに始まったところです。市民の皆さまのご理解、ご協力を心からお願いいたします。